



2025

6

No.2

学びセンターの最新ニュースや
プロジェクト報告をお伝えします。



信州大学教育学部附属
次世代型学び研究開発センター

026-238-4242

crilofc@shinshu-u.ac.jp

<https://cril-shinshu-u.info/>

学び通信とは？

信州大学教育学部では、地域のみなさまに向けて、「学校教育の現在」をお伝えするためのメディアとしてこの通信を発行します。次のような特徴があります。

- ・信州大学教育学部に所属する教育の専門家の立場から、「**学校教育の現在**」をわかりやすく解説します。長野県内特有の情報も盛り込み、地域のみなさまに情報提供したいと思います。
- ・**ご自由に印刷配布**していただいてかまいません。生徒、教員、保護者等、地域のみなさまとの情報共有にお使いください。
- ・「学び通信」からの引用であることを明示していただければ、**ご自由に転載してご利用いただけます**。たとえば、学年通信・学校通信等の文面としてご利用いただいてもかまいません。テキスト情報は以下のURLからダウンロードしていただけます。

「信州大学学びセンター」で検索

<https://cril-shinshu-u.info/archives/product/learning-newsletters>



先取り履修生募集!!

信州大学では、長野県内高校生科目等履修生（先取り履修生）を募集します。教育学部が募集する後期分（6月下旬募集開始）の科目は以下の通りです。

■学習科学概論

「学び方」「教え方」を学ぶ授業です。教育心理学、認知科学、教育工学、教育実践学等のさまざまな学問領域を基盤としている「学習科学」を扱います。オンラインビデオと対面授業を組み合わせて学びます。（前期分と同じ内容です）

■STEAMものづくり入門ⅠB・ⅡB

科学、技術、工学、人文科学、数学を横断的に学ぶSTEAM教育。その中でも3Dプリンタなどのデジタルのものづくりの基礎を学びます。オンラインで講義やデータ作成+学部で実際に作成演習（休日1日）の体験的授業で、未経験でも大丈夫です。

■古典文学史Ⅰ・Ⅱ

古典文学史Ⅰでは韻文領域（和歌・俳諧など）、Ⅱでは散文領域（物語・隨筆など）の変遷をたどります。中学校・高等学校の教材を中心にそれぞれの特徴や教材としての価値を検討します。受講生の意見交換なども行います。手元に国語便覧があると便利です。オンラインと一部集中授業で行います。

学校の先生になりたい方に特にお勧めします。大学の授業を体験し、進路選択の材料の一つにしてください。詳細は信州大学教育学部ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください（更新が本通信より遅れることがあります、しばらく後に再度アクセスをお願いします）。





非認知能力とは何ですか？

最近、「非認知能力」という言葉を聞く機会が増えているのではないでしょうか？

簡単に言えば、「人生をよりよくするための、学力以外の能力」です。たとえば「忍耐力」は典型的な非認知能力です。勉強や仕事で、忍耐力がプラスに働くことは想像しやすいと思います。そして、忍耐力は国語や数学などの学力とは異なります。

非認知能力が注目された背景には、学力よりも将来の収入増や幸福（ウェルビーイング）につながるのではないかという指摘があります。入試のペーパーテストが典型ですが、これまで学力こそが人生を豊かにすると「信じられていた」のだと思います。もちろん学力も重要であることは確かですが、「学力だけではない」ということも納得できるのではないかでしょうか。ペーパーテストは苦手だけど仕事で成功している人、上手に生活している人はたくさんいます。そこには、ペーパーテストでは把握できない、非認知能力が関係しているのだと思います。

では、どうすれば非認知能力を高めることができるのか。非認知能力は多様なので「どの能力を高めたいのか」によって違いますが、学習に関する非認知能力を考えてみましょう。

たとえば、テスト勉強をするときを考えましょう。先生や親が「あなたは〇〇が苦手だから〇〇しなさい」と指示し、子どもがそれに従えば、おそらく一定の得点は取れるでしょう。一方で、自分で何が苦手なのか、どうすればいいのか考える機会も重要だと思います。外から見ていると、口を出したくなる気持ちはわかります。でも、自分自身で考えて、自分の学びをコントロールすることで、「自力で学ぶ力」を身につけることができるのではないかでしょうか。まさに非認知能力の一つです。重要なのは、「指示」ではなく「考える支援」だと思います。

現在では1人1台パソコンが普及して、学びたいときにはいつでも学べる環境が整いました。「自力で学ぶ力」は、このような時代に有利な力だと思います。長い目で見る必要があるのでないかと思います。もちろん、目の前にテストや受験はありますから、時には指示することも必要ですね。バランスの問題ではないかと思います。

さて、「非認知能力」について理解を深めるために、インターネット検索してみましょうか。最近流行のAIに聞いてもいいですね。僕はChatGPTをよく使っています。

（信州大学教育学部附属次世代型学びセンター長 島田英昭）

信州大学教育学部公式SNSご紹介

信州大学教育学部は、XとInstagramで情報発信しています。

学生生活、イベント紹介等、在学生、受験生、卒業・修了生、地域のみなさまに様々な情報を発信しています。

公式X、公式Instagram、公式YouTubeチャンネル、ぜひご覧ください！



X



Instagram



YouTube

